

令和2年度 高等学校OPENプロジェクト実施計画書（3年次）

1 研究の概要

【ガイドブック製作】

- ・科目「高山植物」において、NPO法人「礼文島自然情報センター」のスタッフと協力し、生徒が観光客に対しガイド活動を行うことにより、礼文の自然や高山植物の希少性、価値について、生徒の理解を深める。また、郷土を知り、地域資源を守ろうとする態度を養う。
- ・礼高花壇を活用し、高山植物を間近で継続的に観察することにより、高校生の視点でのガイドブックを製作する。

【地元食材を使ったオリジナル料理の創作】

- ・科目「生活産業基礎」において、礼文島の水産資源を用いた探究活動を行い、地元食材を使った加工品や料理を考え、試作品を作る。
- ・宗谷地区水産技術普及指導所礼文支所と連携し、オリジナル料理を完成する。

【礼文島紹介コンテンツの製作と情報発信】

- ・科目「情報処理」において、上記の科目で実践した内容から礼文島のPR動画を製作し、本校のホームページなどを活用したWebによる情報発信を行う。
- ・製作したガイドブックや動画（DVD）を礼文町や礼文島観光協会と連携して観光客に配布するなどして、礼文の魅力を発信する機会とする。
- ・高山植物や水産資源の他、新たな観光資源を考案する。

2 研究主題

礼文の魅力探究～地域の活性化へ～

3 研究の内容等

(1) 解決に取り組む地域の課題

- ・観光シーズン（5～9月）は観光客で賑わうが、オフシーズン（10～4月）は来島者が減少し、活気が損われる。
- ・新たな観光資源や土産物などのアイデアが出ず、停滞感がある。

(2) 研究目的と目標

（研究目的）

生徒が地域住民とともに観光振興等を考え、行動することにより、街づくりへの参画意欲が高まり、礼文島全体の振興に主体的に関わろうとする意識を向上させることができる。

また、実学となり得る取組から、将来に向け、職業に対する意識をもつことができるなど、自己の生き方や在り方を考える機会となる。

（研究目標）

定期的な生徒アンケートにより、次に示す項目等を把握する。

- ・自分が礼文島の振興に関わっていることを実感できる。（目標 100%）
- ・地域の方々と共に考え行動したことにより、自らのコミュニケーション能力が高まったと思う。（目標100%）

(別紙様式)

- ・卒業後も礼文島のために地域振興に関わっていきたいと思う。(目標100%)
- ・礼文島の魅力を島外の人にわかりやすく紹介(説明)することができたと思う。(目標100%)

(3) 研究内容

(内容)

礼文町や関係団体、事業所等と連携し、次の取組を行う。

- ア 礼文島の高山植物などの自然について理解を深める学習活動
- イ 礼文島の水産資源についての理解を深める学習活動
- ウ 礼文島の水産資源等を活用した土産物の新規開発
- エ 礼文島の観光振興のためのパンフレット等の作成、情報発信の取組

(方法)

- ア NPO 法人「礼文島自然情報センター」と協力してボランティアガイドの充実とガイドブックを製作する。
- イ 宗谷地区水産技術普及指導所礼文支所等と連携して料理を開発する。
- ウ 観光協会と協力して、土産物等の新規開発を行う。
- エ 観光協会と共同してパンフレットなどを作成し、本校のホームページなどを活用して情報を発信する。

(教育課程上の位置付け)

- ・理科「高山植物」(学校設定科目)
- ・家庭科「生活産業基礎」
- ・商業科「情報処理」
- ・総合的な探究の時間

(4) 実践研究の規模

・教科「理科」「家庭科」「商業科」を中心に全校体制(全校生徒、全教職員)で実施する。

(5) 研究成果の普及方法

- ・観光客等への情報発信(成果物の配布、提示など)
- ・住民に向けた情報発信(学校だよりの町内配布、町広報誌への掲載)
- ・礼文町教育研究会主催「礼文学発表会」
- ・宗谷管内教育研究会における発表
- ・学校のホームページなどによる取組状況の随時掲載

(6) 3年間の研究計画

研究年度	研究内容
平成30年度 (1年次)	高山植物:高山植物の魅力の探求 生活産業基礎:地域性を生かした料理の探求、試作 情報処理:動画の製作・Webを活用した情報発信の基礎

(別紙様式)

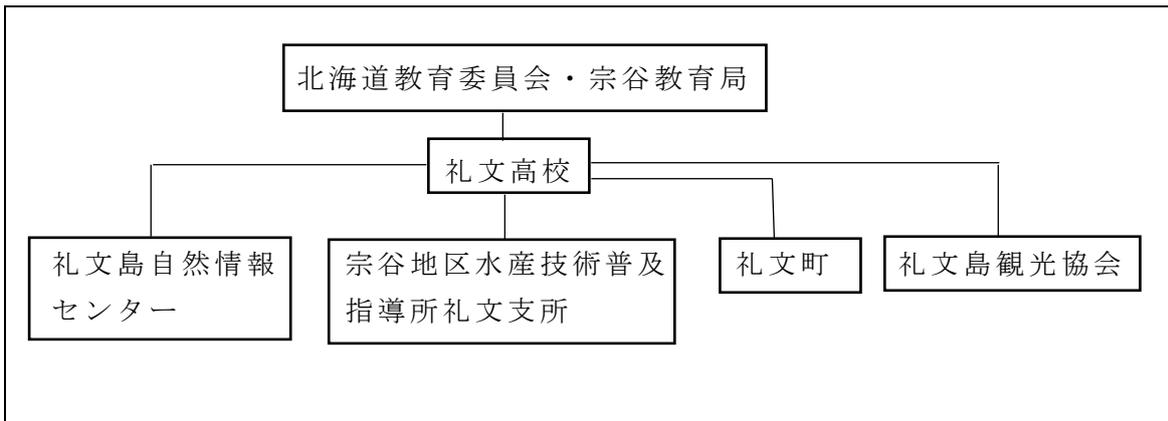
令和元年度 (2年次)	高山植物：高山植物についての学習、外来植物除去、培養実験 生活産業基礎：専門家を招致し、地域性を生かした料理の深化 日本史：縄文遺跡の見学 情報処理：動画の製作・Webを使つての発信の工夫
令和2年度 (3年次)	高山植物：ガイドブック製作 生活産業基礎：地域性を生かした料理の完成 情報処理：動画DVDの製作・Webを使つての発信の完成

(7) 令和2年度の実践計画

実施月	実践内容
4月	「高山植物」野外実習 地域向けプロモーションビデオ製作(～9月) ※実習や授業の様子を動画で撮影する
5月	「高山植物」野外実習 「生活産業基礎」生活産業について
6月	「高山植物」野外実習 「生活産業基礎」水産業と観光業、商品開発
7月	「高山植物」野外実習
8月	「高山植物」野外実習 「生活産業基礎」商品検討、販売について
9月	成果発表会準備 地域向けプロモーションビデオの完成
10月	成果発表会(札幌) 礼文学発表会準備
11月	礼文学発表会 地域向けプロモーションビデオの公開
12月	「高山植物」レブンアツモリソウ培養実験
1月	
2月	「高山植物」ガイドブック製作
3月	1年間のまとめ

4 研究組織

(1) 概要図



(2) 校内研究担当者

職名	氏名	担当教科・分掌等
教諭	○田中 到	理科・進路指導部
教諭	須賀 千博	家庭科・生徒指導部
教諭	保坂 剛司	商業・情報科・生徒指導部
教諭	浦田 麻衣	理科・教務部

(別紙様式)

(3) 連携・協働先

連携・協働先	具体的な連携・協働内容
礼文島自然情報センター	・観光ガイドに向けての野外実習時の講師 ・絶滅危惧種であるレブンアツモリソウの保護活動の協力
宗谷地区水産技術普及指導所礼文支所	・水産資源の提供
香深漁業組合	・漁業や水産業従事者の斡旋
昆布本舗『やまじょう』	・礼文島の自然についての講話

(4) 地域みらい連携会議構成員

所属・職名	氏名	備考（専門分野等）
昆布本舗『やまじょう』社長	久保 和夫	
香深漁業組合理事 指導漁業士	山田 勝行	
礼文島自然情報センター	村上 賢治	
〃	菊田 尚吾	
宗谷地区水産技術普及指導所礼文支所	本前 伸一	

5 その他特記すべき事項

特になし。

6 研究のイメージ図

